

宮城県北部を震源とする地震について（第5報）

これは速報であり、数値などは今後も変わることがある。

平成15年7月28日
8時00分現在
内閣府

1. 地震の概要（気象庁情報）

7月26日0時13分頃発生地震

- (1) 発生年月日 7月26日0時13分頃
- (2) 震源地 宮城県北部（北緯38.4度、東経141.2度）
- (3) 震源の深さ 約12km
- (4) 規模 マグニチュード5.5（推定）
- (5) 各地の主な震度

震度6弱	宮城県	矢本町、鳴瀬町
震度5強	宮城県	鹿島台町、南郷町
震度5弱	宮城県	石巻市、松山町、田尻町、涌谷町、大郷町、河南町

震度4以下は省略。

(6) 津波予報

・津波の状況：この地震による津波の心配なし

7月26日7時13分頃発生地震

- (1) 発生年月日 7月26日7時13分頃
- (2) 震源地 宮城県北部（北緯38.4度、東経141.2度）
- (3) 震源の深さ 約12km
- (4) 規模 マグニチュード6.2（推定）
- (5) 各地の主な震度

震度6強	宮城県	南郷町、矢本町、鳴瀬町
震度6弱	宮城県	河南町、桃生町、涌谷町、小牛田町
震度5強	宮城県	石巻市、松山町、田尻町、古川市、米山町
震度5弱	宮城県	志波姫町、河北町、大郷町、一迫町、瀬峰町、高清水町、迫町、仙台市、三本木町、金成町

(6) 津波予報

・津波の状況：この地震による津波の心配なし

7月26日16時56分頃発生地震

- (1) 発生年月日 7月26日16時56分頃
- (2) 震源地 宮城県北部(北緯38.5度、東経141.2度)
- (3) 震源の深さ 約12km
- (4) 規模 マグニチュード5.3(推定)
- (5) 各地の主な震度

震度6弱	宮城県	河南町
震度5強	宮城県	南郷町、涌谷町
震度5弱	宮城県	桃生町

(6) 津波予報

- ・津波の状況: この地震による津波の心配なし

余震確率 7月27日11時00分発表

7月27日9時00分から7月28日0時00分以内に

M5.5(震度6弱程度)の余震の発生する確率は20%

M5.0(震度5強程度)の余震の発生する確率は40%

M4.5(震度5弱程度)の余震の発生する確率は70%

有感地震回数(7月26日0時13分~7月28日8時00分)

320回

2. 被害の状況

(1) 人的・住家被害(消防庁調べ: 7月27日17時00分現在)

都道府県名	人的被害(人)				住家被害(棟)				
	死者	行方不明者	負傷者 (重傷)(軽傷)		全壊	半壊	一部破損	浸水 (床上)(床下)	
宮城県			13	556	73	342	5,386		
岩手県							1		
合計			13	556	73	342	5,387		

- ・宮城県電柱火災1件 鎮火
- ・作業場内火災(涌谷町)1件 7時28分鎮火

(2) 避難の状況

- ・宮城県 3,023人(世帯数は調査中)(消防庁調べ: 7月27日6時00分現在)
- ・宮城県 2,651人(世帯数は調査中)(消防庁調べ: 7月27日17時00分現在)

- (3) ライフライン (総務省調べ : 7月26日21時00分現在)
 (経済産業省調べ : 7月26日23時15分現在)
 (厚生労働省調べ : 7月27日16時00分現在)

・ 電力、ガス、水道の供給停止 (不通) 戸数等

	管内	延べ戸数	停止中の戸数
電力	東北電力管内	約 134,000	0 (7月26日 23:15 復旧)
ガス	宮城県矢本町	約 650 戸	0 (7月26日 18:20 復旧)
水道	宮城県	13,721	12,277

(通信等の状況)

7月26日0時13分頃発生地震

- ・ 宮城県あての固定電話及び携帯電話が若干混み合ったため、通信規制を実施 (7月26日1時17分までにすべて解除)

7月26日7時13分頃発生地震

- ・ 宮城県あての固定電話及び携帯電話が大変混み合ったため、主要電気通信事業者では、地震発生直後から通信規制を実施したが、固定電話では13時30分までにすべて解除、携帯電話では一部の地域を除き解除した。

7月26日16時56分頃発生地震

- ・ 東北地方への通信に輻輳が発生し、固定電話及び携帯電話とも一部の通信事業者で再度、通信規制を実施したが、固定電話では17時58分に、携帯電話では20時35分にすべて解除。

(4) 道路 (国土交通省調べ : 7月28日5時45分現在)

・ 通行規制箇所

28箇所 (うち継続中13箇所)

	都道府県名等	路線名もしくは箇所数	備考
高速自動車国道		東北自動車道 1区間	7月26日8時55分解除
直轄国道	宮城県鳴瀬町	国道45号 2区間	1区間 7月27日4:13解除 1区間 7月27日15:00解除
	宮城県岩沼市	国道45号 1区間	7月26日11:30解除
	宮城県名取市	国道108号 1区間	7月26日8:55解除
	宮城県河南町	国道108号 1区間	7月27日16:00片側交互通行開始

有料道路	宮城県	三陸自動車道 1 区間	7月27日7:30解除
有料道路	宮城県	仙台松島道路 1 区間	7月28日7:30解除
地方道	岩手県	1 箇所	片側交互通行
	宮城県	1 4 箇所	7月28日5:45現在 全面通行止め5箇所 片側交互通行6箇所

(5) 交通機関 (国土交通省調べ : 7月28日06時00分現在)

・ 運休 (欠航) の路線数

・ JR東日本

・ 東北本線 : 松島 ~ 小牛田 (7月26日19:37分運転再開)

 : 小牛田 ~ 石越 (7月26日17:20分運転再開)

 : 塩釜 ~ 石越 (線路点検のための運転抑止中)

・ 陸羽東線 : 小牛田 ~ 古川 (線路点検のための運転抑止中)

・ 石巻線 : 小牛田 ~ 前谷地 (線路点検のための運転抑止中)

・ 仙石線 : 松島海岸 ~ 石巻 (線路点検のための運転抑止中)

・ 気仙沼線 : 前谷地 ~ 志津川 (線路点検のための運転抑止中)

・ 私鉄線

・ くりはら田園鉄道線 : 全線 (7月26日17:07分運転再開)

その他の路線においても、一部運行抑止等が発生した。

(6) 土砂災害 (国土交通省調べ : 7月28日06時00分現在)

・ かけ崩れ32箇所 (宮城県32)

・ 土砂災害2箇所 (宮城県2)

(7) 河川施設等の被害 (国土交通省調べ : 7月28日5時45分現在)

・ 3水系 (鳴瀬川水系、北上川水系、定川水系) の 1 0 河川で、堤防天端亀裂や堤防
法面崩壊等、 6 5 箇所

(その他の公共土木施設被害については調査中)

(8) 農林水産業関係 (農林水産省調べ : 7月27日9時00分現在)

・被災箇所数

	箇所数
農地	6
農業用施設	28
治山施設	
山腹崩壊	8
林道	1
漁港等	7

(9) 文教施設 (文部科学省調べ : 7月27日17時00分現在)

・被災箇所数

	箇所数
国立学校施設	1
公立学校施設	105
私立学校施設	13
社会教育・体育、文化施設等	47
文化財等	2
計	168

3 . 政府の主な対応

(1) 災害応急体制の整備

- ・7月26日0時40分官邸対策室設置（緊急参集チーム参集）
- ・7月26日1時14分防災担当大臣記者会見
- ・7月26日2時05分内閣総理大臣危機管理センターへ来室
- ・7月26日2時25分防災担当大臣記者会見
- ・7月26日7時00分官邸対策室閉鎖
- ・7月26日7時18分官邸対策室設置（緊急参集チーム参集）
- ・7月26日9時05分防災担当大臣記者会見
- ・7月26日17時28分緊急参集チーム参集
- ・7月26日18時30分防災担当大臣記者会見

(2) 災害対策関係省庁連絡会議の開催

- ・7月26日3時30分災害対策関係省庁連絡会議開催（第1回）
下記を中心に情報収集及び災害応急対策に万全を期すことを確認
関係機関は引き続き迅速かつ的確に情報の収集を行い、緊密な連携を計ること。
これまでに生じた被害に対する応急対策と適切な対応をすること。
事態の推移に応じ必要があれば、今後においても災害対策関係省庁連絡会議を開催する等、関係省庁の連携を密にしていくこと。
- ・7月26日11時00分災害対策関係省庁連絡会議開催（第2回）
- ・7月26日20時00分災害対策関係省庁連絡会議開催（第3回）（防災担当大臣出席）

(3) 政府調査団の派遣

- ・鴻池防災担当大臣を団長とする政府調査団12府省庁39名を宮城県へ派遣（7月27日）

(4) 各省庁の対応

内閣府

- ・7月26日0時35分内閣府情報対策室設置
- ・7月26日1時20分内閣府情報先遣チームを宮城県庁へ派遣（企画官他2名）
- ・7月26日9時08分内閣府情報先遣チームが宮城県庁（宮城県災害対策本部）着

警察庁

- ・7月26日0時15分警察庁災害警備本部設置
- ・7月26日0時30分宮城県警察本部地震災害警備本部設置
- ・7月26日0時30分東北管区警察局警備対策本部設置
- ・7月26日0時45分東北管区広域緊急援助隊（約200人）待機指示
- ・7月26日1時15分関東管区広域応急広域緊急援助隊（約1000人）待機指示
- ・7月26日1時20分関東管区警察局災害警備連絡室設置
- ・7月26日4時36分以降東北管区警察局通信部が地上映像を官邸に配信
- ・7月26日4時55分以降宮城県警ヘリコプターによる情報収集活動を開始
- ・7月26日北海道警察広域緊急援助隊（約130人）に待機指示

- ・7月26日警視庁広域緊急援助隊（約200人）に待機指示
- ・7月26日7時20分北海道警察へリ、岩手県警察へリ、栃木県警察へリを宮城県に広域派遣指示
- ・7月26日8時00分東北管区警察局広域緊急援助隊(岩手県警察・福島県警察・山形県警察～約113人)を宮城県に派遣
- ・7月26日13時30分、東北管区広域緊急援助隊が情報収集や警戒警備活動を開始
- ・7月26日17時10分以降宮城県警察へリがへリテレ映像を官邸に配信
- ・7月27日5時20分以降宮城県警察へリがへリテレ映像を官邸に配信

消防庁

- ・7月26日0時13分消防庁災害対策本部設置
- ・7月26日1時01分宮城県周辺の4県に対し、緊急消防援助隊(岩手県、秋田県、山形県、福島県計52隊)の出動準備を要請(26日2時19分出動準備体制一時解除)
- ・7月26日2時50分関係県に対し二次災害の防止のため必要な応急対策の実施を要請
- ・7月26日7時20分仙台市消防局高所監視カメラ映像を官邸に提供
- ・7月26日7時30分緊急消防援助隊(岩手県、秋田県、山形県、福島県計77隊)の出動準備を要請。仙台市消防局へリ、東京消防庁へリに出動準備を要請
- ・7月26日8時15分消防庁職員2名を現地派遣
- ・7月26日8時25分札幌市消防局へリ(緊急消防援助隊)に出動要請
- ・7月26日8時37分栃木県へリ(緊急消防援助隊)に出動準備を要請
- ・7月26日10時50分宮城県鹿島台町鳴瀬川における堤防亀裂に対し、消防機関が救命用ボートを現地搬送し待機
- ・7月26日16時00分茨城県へリ、埼玉県へリ、山梨県へリに27日の出動準備を要請
- ・7月26日17時02分緊急消防援助隊(岩手県、秋田県、山形県、福島県)の出動準備を再要請
- ・7月26日18時00分仙台市消防局高所監視カメラ映像を官邸に提供
- ・7月26日18時20分宮城県に対して、毛布等の不足物資があれば消防庁から他県に要請するので、不足分の有無を確認するように伝達
- ・7月27日8時00分札幌市消防局によるへリテレ映像を官邸に提供
- ・7月27日8時40分茨城県へリ(緊急消防援助隊)に出動要請

防衛庁

- ・7月26日0時15分防衛庁運用局に災害対策室設置
- ・7月26日0時36分陸上自衛隊第6師団非常勤務態勢
- ・7月26日0時39分陸上自衛隊第6偵察隊が被害状況の偵察に出発(松島町・金城町)
- ・7月26日0時45分宮城県庁からの災害派遣の準備の要請(0時39分)を踏まえ、陸自東北方面総監部が宮城県庁に向けて連絡要員2名を派遣。
- ・7月26日0時47分陸自第六戦車大隊が被害状況を偵察に出発(瀬峰町)
- ・7月26日0時56分陸自UH-1(映伝機)×1機が離陸。1時18分以降官邸・内閣府等へ映像配信
- ・7月26日1時以降、陸自第22普通科連隊が被害状況の偵察に出発(鳴瀬町、矢本町、

石巻市等)

- ・7月26日1時15分陸自UH - 1 × 1機が離陸。上空からの偵察を実施
- ・7月26日1時20分以降、陸自第22普通科連隊が鳴瀬町役場、石巻市役所、涌谷町役場、鹿島台町役場、南郷町役場、矢本町役場に向けて連絡要員を派遣
- ・7月26日1時30分空自松島基地から連絡要員を派遣(石巻市、矢本町、鳴瀬町)
- ・7月26日1時31分海自護衛艦が岩手県久慈港で待機
- ・7月26日1時41分海自P - 3C × 1機離陸。上空からの被害状況の偵察を実施
- ・7月26日3時58分陸自OH - 6 × 1機離陸
- ・7月26日4時50分陸自UH - 1 (映伝機) × 1機離陸。5時00分以降映像を官邸・内閣府等へ配信
- ・7月26日7時36分空自UH - 60J × 1機が離陸。上空からの被害状況の偵察を実施
- ・7月26日7時43分第六偵察隊、第六戦車大隊が被害状況の偵察に出発
- ・7月26日7時46分宮城県から陸自東北方面総監へ災害派遣の準備の要請
- ・7月26日7時50分海自護衛艦「しらゆき」が相馬港に入港。構内で待機
- ・7月26日7時51分陸自UH - 1 (映伝機) × 1機離陸。7時55分以降、官邸・内閣府等へ映像を配信開始
- ・7月26日7時58分空自F - 15 × 2機が離陸。上空からの被害状況の偵察を実施
- ・7月26日8時07分以降 第2特科群(仙台)が、仙台市青葉区役所、泉区役所、太白区役所へ連絡要員を派遣
- ・7月26日8時20分海自P - 3C × 1機が離陸。上空からの被害状況の偵察を実施
- ・7月26日8時24分松島基地から連絡要員を派遣(石巻市、矢本町、鳴瀬町)
- ・7月26日8時35分地上映像伝送装置車(東北方面通信群)が仙台駐屯地から南郷町へ出発。11時45分以降、官邸・内閣府等へ映像を配信
- ・7月26日8時55分陸自第22普通科連隊が約230名、約50両を空自松島基地へ前進
- ・7月26日10時40分宮城県知事から陸自第6師団長に対して道路啓開・倒壊家屋の除去等にかかる災害派遣要請。空自松島基地へ前進中であった陸自第22普通科連隊の約230名、約50両を矢本町・鳴瀬町へ派遣、道路啓開、倒壊家屋の除去、給水支援を実施(21時30分に26日の活動を終了)
- ・7月26日12時01分空自第4航空団から人員8名、車両1両、給水車1両が矢本町に向けて出発、給水支援を実施(17時51分に26日の活動を終了)
- ・7月26日13時05分陸自UH - 1 (映伝機) × 1機が離陸。13時14分以降、官邸・内閣府等へ映像を配信。
- ・7月26日15時28分以降空自第4航空団から毛布計1400枚を矢本町周辺の被災者収容所に提供
- ・7月26日16時00分地上映像伝送装置車(東北方面通信群)が仙台駐屯地から鳴瀬町へ出発。
- ・7月26日17時37分陸自UH - 1 (映伝機) × 1機が離陸。17時47分以降官邸、内閣府等へ映像を配信
- ・7月26日19時25分陸自第22普通科連隊が海上保安庁巡視船搭載の毛布を車両で石巻港から矢本町まで輸送
- ・7月27日1時12分海自護衛艦「しらゆき」が石巻港外にて待機

- ・7月27日4時07分陸自UH-1（映伝機）×1機が離陸。4時10分以降、官邸・内閣府等へ映像を配信
- ・7月27日5時00分以降陸自第22普通科連隊等の人員約700名、車両約200両により、矢本町、南郷町、鳴瀬町、河南町において、道路啓開、給水支援を開始（22時00分に27日分終了予定）。
- ・7月27日7時20分空自第4航空団の人員6名、車両2両により、矢本町、鳴瀬町において、給水支援を開始（18時27分に28日分終了）。
- ・7月27日9時24分より政府調査団の空輸を開始（空自CH-47×1機、空自C-1×1機）
- ・7月27日12時10分陸自UH-1（映伝機）離陸、12時15分以降官邸等へ映像配信
- ・7月27日14時24分陸自UH-1（映伝機）空自松島基地を離陸、14時28分以降官邸等へ映像配信
- ・7月27日15時54分陸自UH-1空自松島基地を離陸、16時00分以降官邸等へ映像配信
 明日も引き続き活動を実施予定
 災害派遣要請後の派遣規模（現在までの延べ数）
 ：人員：約940名、車両約260両、航空機2機

海上保安庁

出動勢力

- [7月26日]巡視船艇20隻、航空機9機
- [7月27日]巡視船艇20隻、航空機6機
- [7月28日]巡視船艇13隻、航空機2機

主な対応

- ・7月26日0時20分海上保安庁地震災害対策本部設置、第二管区海上保安本部に地震災害対策本部設置、巡視船艇及び航空機による被害状況調査開始
- ・巡視船艇及び航空機により震源地付近の状況等をテレビ画像伝送装置にて、官邸、内閣府等に映像を配信
- ・7月26日塩釜付近から石巻付近沿岸海域にかけての沿岸部及び主要港に関し、船艇等による被害状況調査を実施。釜石、気仙沼、石巻、仙台塩釜港の異常を認めず
- ・7月26日石油コンビナート、原子力発電所に異常を認めず。
- ・7月26日岩手、宮城、福島各県沿岸に日本航行警報発出し付近船舶に注意喚起
- ・7月26日宮城県災害対策本部に第二管区海上保安本部職員を派遣
- ・7月26日12時00分宮城県からの給水要請を受け、第二管区海上保安本部は巡視船「ざおう」を石巻港へ回航させ、13時より給水準備を整え待機
- ・7月26日宮城県から毛布の無償貸与の要請があり、災害対応型巡視船「いず」に搭載されている毛布200枚を、石巻港にて自衛隊に引渡し実施。以後「いず」は、給水準備を整え待機。
- ・7月27日ヘリによる牡鹿半島～志津川湾にかけての被害状況調査を実施。
- ・7月27日、宮城県から、巡視船からの給水は必要なく、要請は取り下げる旨の連絡を受けたことから、「ざおう」及び「いず」の石巻港待機を解除。

- ・ 7月28日4時08分発生した地震に対し、第二管区内の巡視船艇、航空機による被害状況調査を実施。

総務省

- ・ 7月26日0時40分対策本部設置。総務本省・東北総合通信局で情報収集体制。

文部科学省

- ・ 7月26日0時21分文部科学省災害情報連絡室設置
- ・ 7月26日10時14分文部科学省災害応急対策本部設置
- ・ 7月26日12時30分文部科学省災害応急対策本部会議(第1回)開催
- ・ 7月26日15時00分地震調査研究推進本部第115回地震調査委員会(臨時会)を開催(今回の地震について分析と評価を実施)
- ・ 7月27日9時00分文部科学省災害応急対策本部会議(第2回)開催

厚生労働省

- ・ 7月26日1時00分厚生労働省災害対策本部設置

農林水産省

- ・ 7月26日0時30分東北農政局に災害対策本部設置
- ・ 7月26日2時00分災害対策関係局庁連絡会議を設置

経済産業省

- ・ 7月26日0時20分経済産業省及び東北経済産業局で情報収集体制

国土交通省

- ・ 7月26日0時13分国土交通本省非常体制、東北地方整備局及び東北運輸局非常体制
- ・ 7月26日4時30分警戒体制に移行
- ・ 7月26日7時13分国土交通本省非常体制、東北地方整備局及び東北運輸局非常体制
- ・ 7月26日8時40分東北運輸局から調査官2名が石巻脱線現場に派遣
- ・ 7月26日8時40分国土交通省ヘリコプターが出勤し官邸へ映像配信(天候不良のため9時03分終了)
- ・ 7月26日11時30分国土交通省ヘリコプターによる再調査開始(天候不良のため13時04分終了)
- ・ 7月26日14時45分国土交通省ヘリコプターによる再調査開始
- ・ 7月26日16時40分被災した堤防等の迅速な復旧のため鳴瀬川に「7月26日に発生地震東北地方整備局現地対策本部」を設置(仮復旧終了まで)
- ・ 7月27日国土技術政策総合研究所等から河川、道路、建築の専門家を現地へ派遣
- ・ 7月27日9時21分国土交通省ヘリコプターによる再調査開始
- ・ 7月27日17時45分東北地方整備局及び東北運輸局が警戒体制に移行
- ・ 7月27日18時15分国土交通省本省が警戒体制に移行

気象庁

- ・7月26日0時13分気象庁、仙台管区気象台非常体制
- ・7月26日2時30分記者会見（0時13分頃発生地震の概況と今後の余震確率について）
- ・7月26日7時35分仙台管区気象台非常災害対策本部設置
- ・7月26日8時00分仙台管区気象台から職員4名が現地調査に出発
- ・7月26日9時25分記者会見（7時13分頃発生地震の概況と今後の余震確率について）
- ・7月26日9時30分気象庁本庁から職員3名が現地調査に出発
- ・7月26日18時00分記者会見（16時56分頃発生地震の概況について）

（5）災害救助法関連

- ・宮城県南郷町、矢本町、鳴瀬町、河南町、鹿島台町に対し、宮城県は災害救助法の適用を決定し、避難所の設置、炊き出し等を実施（適用日7月26日）

4．その他の機関の対応

N T Tでは、7月26日8時から、災害用伝言ダイヤルサービス（171）を開始（7月27日17時現在の登録件数8,700件、再生件数27,400件）

N T Tでは避難所にポータブル衛星車を搬入、特設公衆電話4台、衛星携帯電話1台を設置（7月26日）

日本赤十字社は、鳴瀬町役場、鹿島台町保険センター及び河南町へ毛布700枚等を搬送（7月26日）